

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3142067号
(U3142067)

(45) 発行日 平成20年6月5日 (2008.6.5)

(24) 登録日 平成20年5月14日 (2008.5.14)

(51) Int.Cl.

F 1

A 6 3 H 33/26 (2006.01)

A 6 3 H 33/26

G 0 9 B 1/08 (2006.01)

G 0 9 B 1/08

B 6 5 D 5/462 (2006.01)

B 6 5 D 5/46

A

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2008-1580 (U2008-1580)
(22) 出願日 平成20年3月18日 (2008.3.18)(73) 実用新案権者 594056018
株式会社山文
東京都新宿区筆筈町 3 8 番地
(74) 代理人 100077779
弁理士 牧 哲郎
(74) 代理人 100078260
弁理士 牧 レイ子
(74) 代理人 100086450
弁理士 菊谷 公男
(72) 考案者 阿部 博之
東京都新宿区筆筈町 3 8 番地 株式会社山
文 内
(72) 考案者 関 哲朗
東京都新宿区筆筈町 3 8 番地 株式会社山
文 内

最終頁に続く

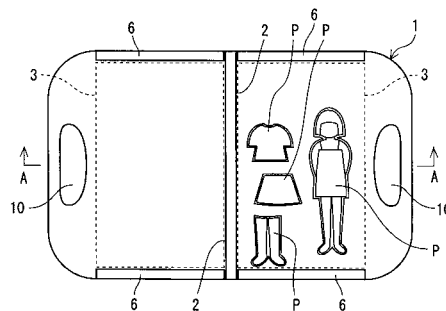
(54) 【考案の名称】 磁石吸着板

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】使い終わった磁石のピースをそのまま収納するため紛失のおそれがなく、場所をとらずに持ち運びにも便利な磁石吸着台を提供する。

【解決手段】磁石が吸い付く材質で出来た薄い板状の吸着台 1 の中央に折れ曲げ線 2 を形成すると共に、結合したり分離したりが自在な止め具 (例えば帯板 6) を、吸着台 1 の側縁に設置する。そして磁石のピース P を吸着台 1 に貼り付けて遊んだり学習したりするが、使い終わったら磁石のピース P を貼り付けたまま吸着台 1 を折れ曲げ線 2 で二つに折って止め具で閉じるので、磁石のピース P の位置が崩れないうえ、紛失の心配もない。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

磁石が吸い付く材質で出来た薄い板状の吸着台の中央に折れ曲げ線を形成すると共に、結合したり分離したりが自在な止め具を、吸着台の側縁で且つ折れ曲げ線に関して対称となる位置に設置して、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることにより止め具を結合して吸着台を閉じることを特徴とする磁石吸着台。

【請求項 2】

前記止め具が磁石で出来た帯板であって、この帯板を吸着台の側縁に固着し、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることにより帯板同士を吸着結合して吸着台を閉じることを特徴とする請求項1記載の磁石吸着台。

10

【請求項 3】

前記止め具が帯状の面ファスナであって、この面ファスナを吸着台の側縁に固着し、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることにより面ファスナ同士を接着結合して吸着台を閉じることを特徴とする請求項1記載の磁石吸着台。

【請求項 4】

前記止め具がボタンホックであって、このボタンホックを吸着台の側縁に固着し、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることによりボタンホック同士を嵌着結合して吸着台を閉じることを特徴とする請求項1記載の磁石吸着台。

【請求項 5】

前記吸着台が薄い磁性体の表裏に紙を重ねこの紙の上にOPPフィルムをラミネートして成ることを特徴とする請求項1記載の磁石吸着台。

20

【請求項 6】

前記磁性体が鉄板であることを特徴とする請求項5記載の磁石吸着体。

【請求項 7】

前記折れ曲げ線に関し吸着台の左右対称位置に手提げ用の通孔を開けてなることを特徴とする請求項1記載の磁石吸着台。

【請求項 8】

前記吸着台と同じ材質で出来た拡張台を吸着台の左右の少なくともいずれか一方に折り曲げ自在に連結することを特徴とする請求項1記載の磁石吸着台。

【考案の詳細な説明】

30

【技術分野】**【0001】**

本考案は、薄いシート状磁石のピースを貼り付けるための磁石吸着台に関する。

ピースの種類はさまざまで、人形やそれに着せる衣装または履物の形状であったり、あるいは、碁石を模した黒と白の丸い円板であったり、数字を表示した四角の方形板であったりする。これらを磁石吸着台の任意の位置に貼り付けて着せ替え遊びをしたり、ゲームをしたり、算数の勉強をしたりする。

【背景技術】**【0002】**

磁石を利用して、台の上に小さな遊戯チップを貼り付けて遊ぶ玩具は、従来から知られている。

40

例えば、特許文献1は、磁石を内蔵した造形ステージの上に薄板上の磁性体遊戯チップを様々に貼り付けて遊ぶ玩具で、遊戯チップは動植物をイメージした形状で、表面に絵が描かれている。このような遊戯チップを付属の絵本のストーリーに合わせて組み合わせて、造形ステージの上に貼り付けて遊ぶようになっている。

【0003】

しかし、遊び終わった遊戯チップは、造形ステージから取り外して、隣の収納凹部に収納しなければならないため、せっかく貼り付けた遊戯チップの造形が遊び終わるたびに消失し、再開のときには初めからやり直さなければならないし、また大事な遊戯チップを紛失するおそれも多い。

50

【特許文献 1】特開2003-93761号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

使い終わっても貼り付けた位置を動かさずにそのまま収納できれば、それまでの造形が無駄にならないし、紛失のおそれもない。

この見地から本考案が解決しようとする課題は、使い終わった磁石のピースをそのまま収納し、場所をとらずに持ち運びにも便利な磁石吸着台を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

10

そのため本考案の磁石吸着台は、磁石が吸い付く材質で出来た薄い板状の吸着台の中央に折れ曲げ線を形成すると共に、結合したり分離したりが自在な止め具を、吸着台の側縁で且つ折れ曲げ線に関して対称となる位置に設置して、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることにより止め具を結合して吸着台を閉じることを特徴とする。

【0006】

本考案によれば、吸着台が中央で二つ折りにでき、側縁には止め具が設置されているので、使い終わった磁石のピースをそのままの状態でも収納でき、場所をとらずに持ち運びにも便利であるという効果を奏する。

【0007】

また請求項 2 の考案は、前記の止め具が磁石で出来た帯板であって、この帯板を吸着台の側縁に固着し、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることにより帯板同士を吸着結合して吸着台を閉じる構成になっている。

20

【0008】

この考案によれば、吸着台を二つ折りにしたとき、帯板同士が吸着結合するので、吸着台を簡単に開閉でき、また、帯板の厚みにより内部空間が確保されるので、磁石のピース同士を重ねた状態でも支障なく収納できる。

【0009】

請求項 3 の考案は、前記止め具が帯状の面ファスナであって、この面ファスナを吸着台の側縁に固着し、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることにより面ファスナ同士を接着結合して吸着台を閉じることを特徴とするので、吸着台の開閉が確實容易なうえに、安価に製造できる。

30

【0010】

請求項 4 の考案は、前記止め具がボタンホックであって、このボタンホックを吸着台の側縁に固着し、吸着台を折れ曲げ線で二つ折りすることによりボタンホック同士を嵌着結合して吸着台を閉じることを特徴とするので、さらに安価に製造できる。

【0011】

請求項 5 の考案は、前記吸着台が薄い磁性体の表裏に紙を重ねこの紙の上にOPPフィルムをラミネートするので、紙に汚れや傷が付きにくいという効果がある。

【0012】

請求項 6 の考案は、前記磁性体が鉄板なので、磁石の吸い付きがよく、曲げにも強く頑丈であるという効果がある。

40

【0013】

請求項 7 の考案は、前記折れ曲げ線に関して吸着台の左右対称位置に手提げ用の通孔を開けるので、吸着台を二つ折りにして運ぶのに好都合である。

【0014】

請求項 8 の考案は、前記吸着台と同じ材質で出来た拡張台を吸着台の左右の少なくともいずれか一方に折り曲げ自在に連結するので、磁石を貼るスペースを広く確保できる。

【考案の効果】

【0015】

このように、本考案によれば、使い終わった磁石のピースをそのままの状態でも収納でき

50

、場所をとらずに持ち運びにも便利であるという効果を奏する。

【考案を実施するための最良の形態】

【0016】

本考案の実施形態を図面に示す。

1は薄い板状の吸着台で、磁石が吸い付く材質で出来ている。その中央に2本平行な折れ曲げ線2を形成する。吸着台1は薄い鉄板3の表裏に紙4を重ね、その表面を傷防止のためOPPフィルム5でラミネートする。鉄板3は折れ曲げ線2の外側に2枚並べて配置する。磁性体であれば鉄板3に限らない。薄いフェライトやニッケルの板でもよい。

【0017】

6は帯板で止め具の一例である。帯板6は磁石7を紙8で被覆した構造で、吸着台1の側縁に固着し、吸着台1を折れ曲げ線2で二つ折りすることにより帯板6同士を吸着結合して吸着台1を閉じるようになっている。このとき結合した帯板6の厚みだけ吸着台1の内部に空間9ができる。10は手提げ用の通孔で、折れ曲げ線2に関し吸着台1の左右対称位置に開ける。

10

【0018】

紙4には、家具などの室内インテリアを描写したり、碁盤やノートの升目を印刷しておく。

そして人形や衣装や履物を表示した薄いシート状磁石のピースPを用意し、これらを吸着台1の上に置くと、ピースPの磁石の力で吸着台1に貼り付く。ピースPの厚さは、帯板6の厚み以下で、好ましくは半分程度がよい(図2参照)。薄すぎると吸着台1から剥がしにくいし、厚すぎるとピース同士を吸着台1の中に重ねて収容しにくいからである。

20

人形のピースの上に衣装のピースを重ねて貼り付けることも出来る。ピースは貼替え自由だから、形状や模様の違う衣装のピースを数種類用意しておけば、着せ替え遊びが楽しめる。

【0019】

碁石のピースの場合は、吸着台1の碁盤目に貼り付ける。

【0020】

数字のピースの場合は、簡単な四則演算を解いて、答えを紙4に印刷した升目の中に貼り付ける。

【0021】

30

使い終わったら、ピースPを貼り付けたまま吸着台1を折れ曲げ線2に沿って二つ折りにし、相対する帯板6同士を吸着結合する。このとき吸着台1の内部に空間9が確保されるので、ピースPが2枚以上重なった状態でも、吸着台1を支障なく二つ折りにできる。ピースPの位置は不動だから、帯板6を分離して吸着台1を平面状に開けば、元通りに着せ替え遊びなどを再開できる。

【0022】

図7は、吸着台1と同じ材質で出来た拡張台1aを、吸着台の左右に、折り曲げ自在に連結した実施態様を示す。この場合、拡張台1aを展開するとピースPを貼るスペースを拡大できる。吸着台1を二つ折りする際は、ピースPを貼ったまま内側に折りたたむ。拡張台1aは左右のいずれか一方のみに連結してもよい。

40

【0023】

図8は止め具が面ファスナ11の例で、図9はボタンホック12の例をそれぞれ示す。これらにおいて、止め具のほかは、図1の例と同じである。

【0024】

これを要するに、本考案は、使い終わった磁石のピースをそのままの状態で収納でき、場所をとらずに持ち運びにも便利であるから、人形の着せ替え遊びや碁などのゲームのほか、計算の勉強などにも広く利用できる。

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】は本考案の実施態様で、その吸着台を拡げた状態の正面図である。

50

【図 2】は図 1 の A - A 線に沿う断面図である。

【図 3】は図 1 の吸着台を二つ折りに閉じた状態の側面図である。

【図 4】は図 3 の平面図である。

【図 5】は吸着台の積層を分解して示す斜視図である。

【図 6】は図 1 の帯板の拡大断面図である。

【図 7】は本考案の別の実施態様における吸着台の正面図である。

【図 8】は別の止め具の実施態様における吸着台の正面図である。

【図 9】はさらに別の止め具の実施態様における吸着台の正面図である。

【符号の説明】

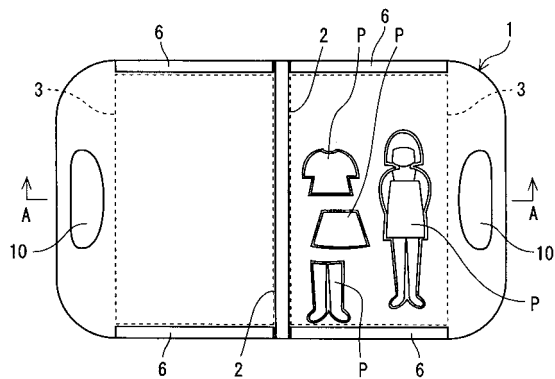
【 0 0 2 6 】

- 1 吸着台
- 2 折れ曲げ線
- 3 鉄板
- 4 紙
- 5 OPPフィルム
- 6 帯板
- 7 磁石
- 8 紙
- 9 空間
- 10 通孔
- 11 面ファスナ
- 12 ボタンホック

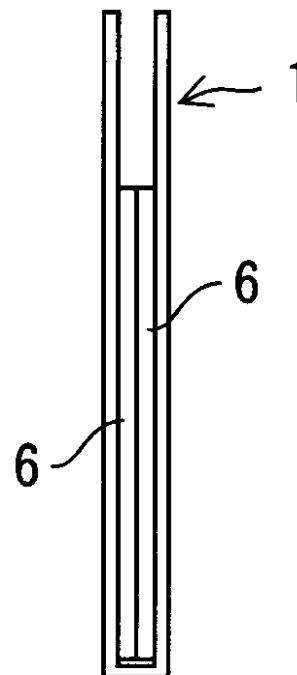
10

20

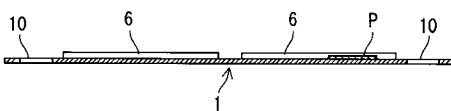
【図 1】



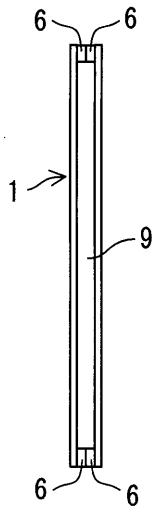
【図 3】



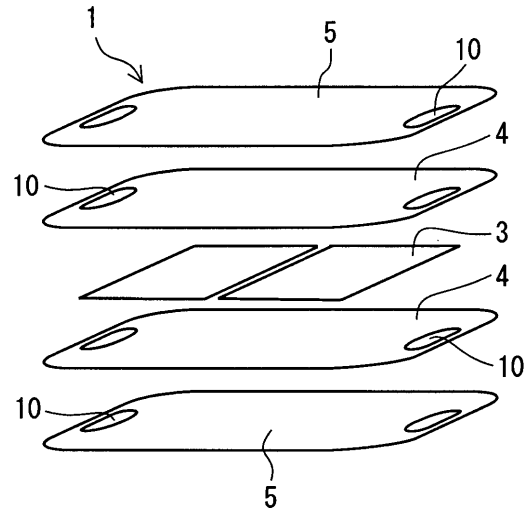
【図 2】



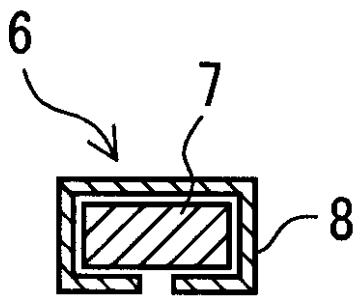
【図 4】



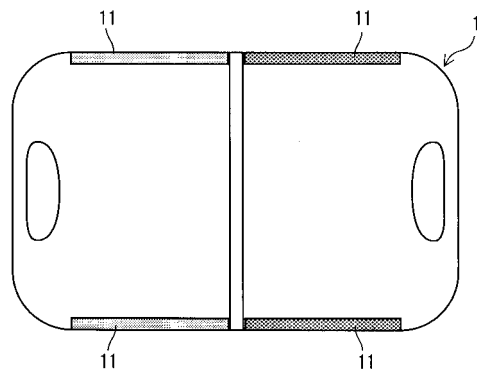
【図 5】



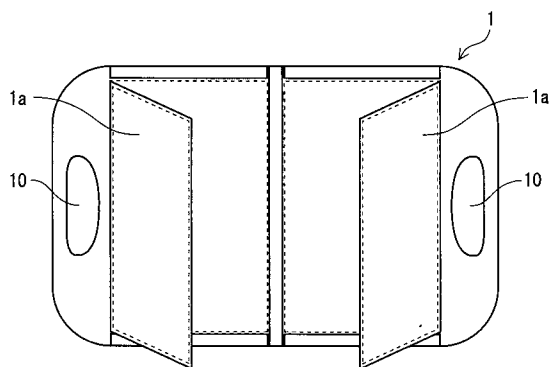
【図 6】



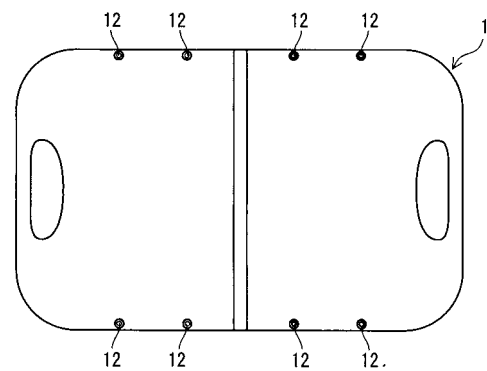
【図 8】



【図 7】



【図 9】



フロントページの続き

- (72)考案者 矢野 祐司
東京都新宿区笹笥町 3 8 番地 株式会社山文 内
- (72)考案者 久保 義男
東京都新宿区笹笥町 3 8 番地 株式会社山文 内
- (72)考案者 ▲呉▼ 博仁
東京都新宿区笹笥町 3 8 番地 株式会社山文 内